

小学生・保護者向け

監修
板橋区教育委員会
学校防災・安全教育専門員
鎌倉女子大学講師 矢崎良明

おやこ 親子で一緒に
しょう ぼうさいくんれん
ぼうさいけいかく ぼうさいくんれん
防災計画 防災訓練



企画意図

約2万人もの死者、行方不明者を出した東日本大震災。地震が発生した午後2時46分は、親は勤め先、子供は学校と、親子が別々の場所にいた時間でした。津波に襲われた地域では、親子がバラバラに逃げることを余儀なくされました。別々の場所で被災した親子が安否確認することも、困難を極めました。震源から離れた街でも、家族の無事を確認する通信方法が遮断され、大混乱となりました。地震の被害を最小限にするには、いざという時に、どう行動するか、どういう備えをするかを日頃から親子でよく話し合っておく必要があります。

そこで、この作品では、イラストの親子が地震について話し合いながら、地震・津波防災について学んでいく姿を柱として、防災についての基本的な知識を紹介していきます。今、日本列島は阪神・淡路大震災以来、地震の活動期に入っているとされています。いつ、どこで、地震が起きても不思議ではありません。地震から命を守るために、親子で防災を考え、一緒に行動する—そんなヒントを提供する作品となっています。

小学生・保護者向け

親子と一緒に 防災計画 防災訓練

作品の概要

■東日本大震災の被害

死者・行方不明者およそ2万人という大災害となった東日本大震災。家は流されてバラバラになった親子もたくさんいた。地震から命を守るために、親として、子供に何を伝えたら良いのか。子供は、どのような心構えが必要なのだろうか。

■地震と津波のメカニズム

日本列島の地下には4つのプレートが重なりあっていて、地震大国とも言われている。プレート境界地震、内陸地震等の地震の種類や、それに伴う津波発生のメカニズムをCGや図解を用いてわかりやすく解説する。

■地震が起きたらどうなる

高速道路倒壊、家屋・ビルの倒壊、火災、地滑り。家の中の被害としては家具の転倒・落下…過去の阪神・淡路大震災、岩手・宮城内陸地震から、地震が起きた時どういう災害が起こるかを検証する。

■地震発生!どう身を守る?

家の中や屋外にいる時など、様々なシチュエーションで地震に遭遇した場合の、最善の対処方法を考えていく。落下物や倒壊物からは、離れて身を守る。津波が来たら、高い場所へすばやく避難する。

■地震への備え

①家の中を安全にする—家具の転倒防止や、棚にある食器が飛び出さないようにする対策を紹介。

②火災を出さない—消火器を置く最適な場所は?消火器の使い方を練習しておくことが大切。

③外出先での避難方法と集合場所—よく通る道の危ない場所や、広域避難場所への道順を確認する。家族の集合場所を決めておく。防災マップを作成する。

④防災グッズをそろえる—非常用持出袋を親子で確認し、玄関に置く。室内に靴、ヘルメットを置く。

■災害時の連絡方法

親子で安否を確認する方法を語っていく。災害用伝言ダイヤルの使用法を図解でわかりやすく説明。スマートフォンやパソコンでインターネットを利用した連絡法である、災害用伝言板web171についてもふれていく。

監修	板橋区教育委員会 学校防災・安全教育専門員 鎌倉女子大学講師 矢崎 良明
企画・制作統括	高木 裕己
脚本・監督	川崎 けい子
撮影	高橋 哲也
イラスト	正者 章子
ナレーター	松本 寛子
コーディネーター	斎藤 晃顕
制作・著作	株式会社映学社

■ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

■学校価格(小学校のみ) 本体 ¥33,000+税

■VHS・DVD【カラー・24分】

■2014年・映学社作品